神奈川県公立高校の入試システム

〔2016年春〕

基本の『き』 1 入試の流れをチェックしよう！

2013年から前期選抜・後期選抜を一本化した共通選抜を実施

＊日程は2016年春（全日制）

日程	日付	内容
入学願書の提出	1/28(木)～2/1(月)	● 入学願書 と 面接シート を受験する高校へ持って行く
志願変更	2/4(木)～8(月)	●受験する高校（学科・コース）を１回だけ変更できる
学力検査	2/16（火）	●学力検査と面接を全員が受験
面接	2/16(火)・17(水)・18(木)（３日のうちいずれか）	
特色検査	2/16・17・18（３日のうちいずれか）	●実施する高校を受験する場合は，検査を受ける
合格発表	2/29(月)	
二次募集 検査	3/9(水)	●検査は，学力検査（３教科）と，高校によっては面接も
二次募集 合格発表	3/16(水)	

ドキドキ！

詳しくは p64「面接シートはどのように書けばいいの？」

県のホームページや新聞の発表で各高校の倍率がわかるよ。高いか低いかを前年と比べたり，他校と比べたりして変更するかどうかを考えよう

詳しくは p63「学力検査について知っておこう！」
p63「面接で聞かれるのは？」

詳しくは p64「特色検査について知っておこう！」

合格　受験票を持って受験校に行き，合格なら合格通知書を受け取ろう！

実施は共通選抜で合格者が定員に満たなかった高校のみだよ

基本の『き』 2 合格者はどうやって決めるの？

どの高校も１・２次の２段階で選考している

募集定員が100人，受験者130人の場合

１次選考が定員の90%まで，２次選考が定員の残り約10%だよ

合格者の決め方

１次選考
▼
「内申（評定）」「学力検査」「面接」の合計点の上位から合格

⇩

２次選考
▼
「学力検査」「面接」の合計点の上位から合格

受験者　130人

合格者　90人
（100人×0.9＝90人）

合格者　10人
（100人×0.1＝10人）

合格　100人　｜　30人　不合格

詳しくは p62「調査書にはどんなことが書かれているの？」
p63「学力検査について知っておこう！」
p63「面接で聞かれるのは？」

特色検査がある高校では，特色検査の得点もプラスして選考されるよ

合格者を決める数値Ｓとは？

詳しくは p59「数値Ｓの求め方！」

数値Ｓは選抜資料の合計点…点数の高い順に合格者が決まる

１次選考　S1＝ 内　申 ＋ 学力検査 ＋ 面　接 ＋ 特色検査（実施校のみ）

１次・２次とも合計が1000点満点だよ

特色検査は100～500点満点だよ

２次選考　S2＝ 学力検査 ＋ 面　接 ＋ 特色検査（実施校のみ）

内申は使わないよ

押さえておきたい基礎知識

1 選抜はどのように行われるの？

高校によって「内申」「学力検査」「面接」の重みが違う

選抜方法

1次選考→「内申」「学力検査」「面接」「特色検査*」に各比率をかけた合計点の上位から合格

2次選考→「学力検査」「面接」「特色検査*」に各比率をかけた合計点の上位から合格

選抜枠

1次選考→定員の90%まで

2次選考→定員の残り約10%

＊は実施校のみ

比率が2なら2倍に，比率が3なら3倍に…

比率

1次選考→内　　申：100点満点に計算し直した数値を2～6倍
学力検査：100点満点に計算し直した数値を2～6倍
面　　接：100点満点に計算し直した数値を2～6倍
▶各比率の合計は必ず10に→1000点満点

2次選考→学力検査：100点満点に計算し直した数値を2～8倍
面　　接：100点満点に計算し直した数値を2～8倍
▶各比率の合計は必ず10に→1000点満点

※特色検査実施校は，特色検査の得点を100点満点に計算し直した数値を1～5倍にして加える（比率の合計は11～15→1100～1500点満点）

詳しくは p64「特色検査について知っておこう！」

1次選考

「学力検査最重視」パターン

内申 2 ＋ 学力検査 6 ＋ 面接 2

2016年は，横浜翠嵐・鶴見の2校がこの比率で実施したよ

「内申最重視」パターン

内申 6 ＋ 学力検査 2 ＋ 面接 2

2016年は，厚木北(一般)・磯子・磯子工業・大井・相模原青陵の5校がこの比率で実施したよ

「学力検査・内申均等」パターン

内申 4 ＋ 学力検査 4 ＋ 面接 2

2016年は，この比率を利用する高校が最も多く，全体の約5割の高校で実施したよ

2次選考

「学力検査最重視」パターン

学力検査 8 ＋ 面接 2

2016年は，6割の高校がこの比率を使って合格者を決めたんだ！

押さえておきたい基礎知識

2 数値Sの求め方！

1000点満点の得点はこうして計算される

A高校をさくらさんが受験した場合

さくらさんの得点

内申：2年次　9教科合計　29点(45点満点)／3年次　9教科合計　31点(45点満点)

学力検査：300点(500点満点)

面接：50点(A高校では100点満点)

それぞれを100点満点に換えるために計算し直す

内　申

$$\frac{29+(31\times2)}{135}\times100=67.41$$

3年次は2倍

135→満点　2年次9科×5＝45／3年次9科×5×2＝90（2倍）

45＋90＝135

67.41

学力検査

$$\frac{300}{500}\times100=60$$

500→満点(5教科×100点)

60.00

面　接

$$\frac{50}{100}\times100=50$$

100→満点100点

50.00

小数第3位を四捨五入

A高校の比率

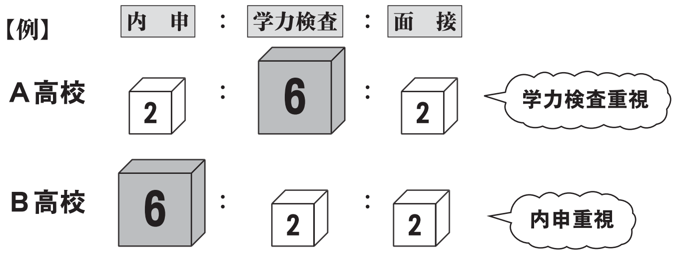
内：学：面
1次 3：5：2
2次 　 8：2

S1（1次）＝67.41×3倍　＋　60.00×5倍　＋50.00×2倍＝602.23

S2（2次）＝60.00×8倍　＋50.00×2倍＝580.00

1次選考での比率の違いは？

各比率が大きい項目が得意項目だと有利になる



▶ 内申 と 学力検査 を 100 点満点に計算し直したとき，
自分の得点が 内申 ＜ 学力検査 なら，学力検査の比率が大きいA高校のほうが高得点に！
自分の得点が 内申 ＞ 学力検査 なら，内申の比率が大きいB高校のほうが高得点に！

入試を もっと 深く知ろう

1 内申重視校と学力検査重視校ではどんなタイプの受験生が有利？

1次選考で，「内申重視」の場合と，「学力検査重視」の場合で，合格・不合格はどのように違ってくるのかを，ゆいさんとしょうた君に登場してもらって，調べてみることにしましょう。

内申重視か学力検査重視かによる数値S1での合格者の違い

・タイプの違う ゆいさん と しょうた君 の得点は下の通りです。内申・学力検査・面接の点数は100点満点に換えるために計算し直したもの。

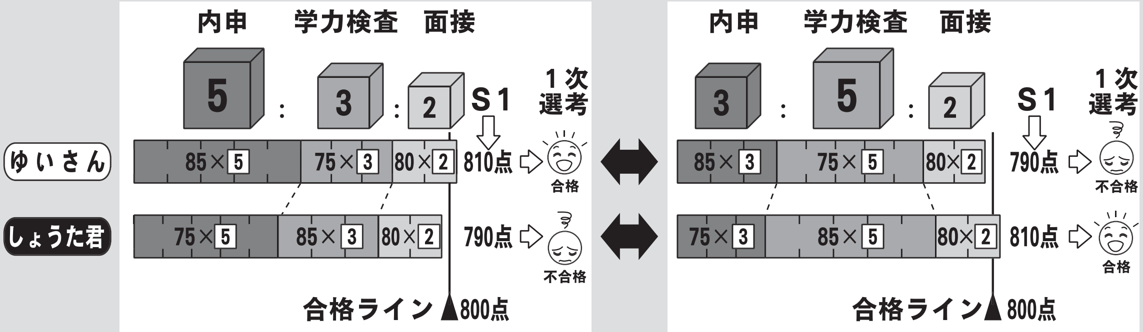
詳しくは p59「数値Sの求め方！」

ゆいさん	（内申は高いが得点力に不安があるタイプ） 内申◎　学力検査△	▶	内申85点	学力検査75点	面接80点 （しょうた君と同じ）
しょうた君	内申△　学力検査◎ （内申は低いが得点力に自信があるタイプ）	▶	内申75点	学力検査85点	面接80点 （ゆいさんと同じ）

実際には各項目を100点満点に計算し直すときに小数第3位を四捨五入した数値を使いますが，ここでは整数で表示しました

・**内申重視校と学力重視校を受けたときの合計点S1の違い**

●**内申重視校**（合格ラインが 800 点のとき）　⟷　●**学力重視校**（合格ラインが 800 点のとき）



内申重視校も学力重視校も合格ラインは同じ800点。しかし，内申重視校と学力重視校では自分の合計点が変わるため，合格・不合格に逆転が起こる。
内申重視校では内申の得点が高い ゆいさん が合格しやすく，学力重視校では学力検査が高い しょうた君 が合格しやすいことが具体的にわかる。

入試をもっと深く知ろう 2 内申の重みはどれくらい？

内申１点の重みは，学力検査の比率で1.23～11.11まで変わる

内申１点の重み

内申１点が学力検査何点分にあたるかを示した数字

（↑ 学力検査重視）

内申	：	学力検査	内申の重み		
2	：	6	1点	＝	1.23点
2	：	5	1点	＝	1.48点
2	：	4	1点	＝	1.85点
3	：	5	1点	＝	2.22点
2	：	3	1点	＝	2.47点
3	：	4	1点	＝	2.78点
2 3 4	： ： ：	2 3 4	1点	＝	3.70点
4	：	3	1点	＝	4.94点
3	：	2	1点	＝	5.56点
5	：	3	1点	＝	6.17点
4	：	2	1点	＝	7.41点
5	：	2	1点	＝	9.26点
6	：	2	1点	＝	11.11点

【計算方法】

$$\frac{500}{135} \times \frac{内申の比率}{学力検査の比率}$$

＊入試教科が３教科型，４教科型の場合や，学力検査や内申で重点化を行う場合は，それぞれの満点が違ってきます。

内申10点分を学力検査でばん回するには…

「内申：学力検査」＝「２：６」の学校では，学力検査で12点（10×1.23≒12）とればよい。

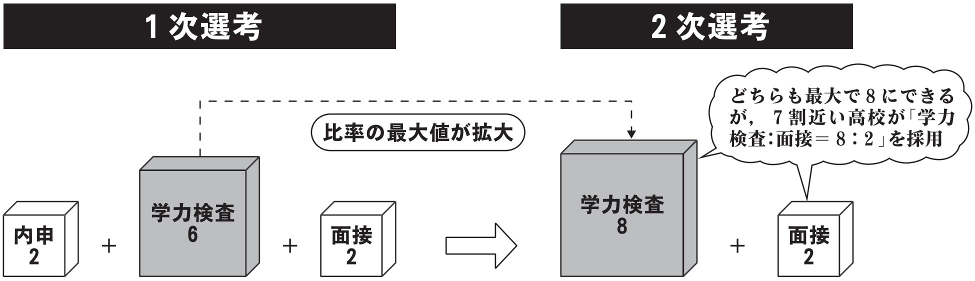
⇒ 学力検査重視の比率なら，十分にばん回できる。

「内申：学力検査」＝「６：２」の学校では，学力検査で111点（10×11.11≒111）とらなければならない。

⇒ 内申重視の比率では，ばん回がかなり難しい。

入試をもっと深く知ろう 3 ２次選考で重視されるのは？

内申が使われず，多くの高校で学力検査の比率が高くなっている



１次⇒２次では，選抜資料で比率の最大値が ６ ⇒ ８ に拡大

多くの高校で，面接に自信がある生徒より，得点力のある生徒のほうが有利！

入試をもっと深く知ろう

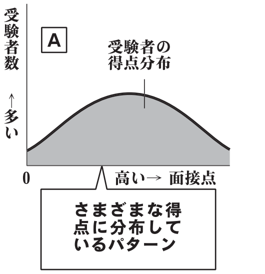
4 面接での受験者の得点分布はどのようになる？

面接の点数をつける方法は高校によりさまざま

面接で差がつきやすい得点分布，差がつきにくい得点分布

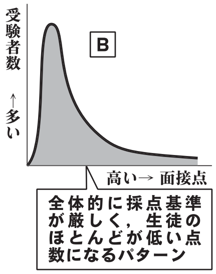
面接は，点数のつけ方が高校ごとに違うため，自分がどの程度得点できるのか判断しにくい選抜資料です。面接の得点分布（受験者の分布のしかた）には次のケースが考えられます。

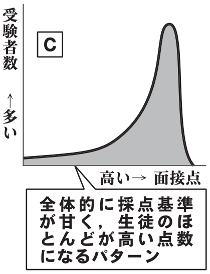
面接で差がつきやすい！

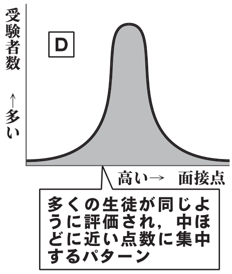


「学力検査・内申が低めでも合格」「高めでも不合格」になりやすい！

面接で差がつきにくい！







学力検査・内申だけで合否が決まりやすい！

知っておくとためになる知識

1 調査書にはどんなことが書かれているの？

学習成績や中学校生活のようすを中学校の先生が記入

第11号様式

調　査　書　　※ 受検番号

志願先高等学校：○○○○ 立 ○○ 高等学校　○ ○ 科（コース・部・専攻）

学籍の記録
- ふりがな：○○ ○○　○○ ○○
- 氏名：○ ○　○ ○
- 性別：
- 生年月日：平成 ○○ 年 ○ 月 ○○日生
- 現住所：○○市○○町○丁目○番○号
- 入学年月：平成　年　月 ○○○ 中学校　第　学年　入学・編入学
- 転入学年月：平成　年　月　中学校　第　学年　転入学
- 卒業年月：平成 ○ 年 3 月 同 中学校 卒業見込（○で囲む）・卒業

各教科の学習の記録

教科	観点別学習状況	2年 評価	2年 評定	3年 評価	3年 評定
国語	国語への関心・意欲・態度	B	4	A	4
	話す・聞く能力	A		A	
	書く能力	B		B	
	読む能力	B		B	
	言語についての知識・理解・技能	A		A	
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	A	4	A	4
	社会的な思考・判断(・表現)	A		A	
	資料活用の技能(・表現)	A		A	
	社会的事象についての知識・理解	B		B	
数学	数学への関心・意欲・態度	B	4	B	4
	数学的な見方や考え方	B		A	
	数学的な技能(表現・処理)	A		A	
	数量、図形などについての知識・理解	A		A	
理科	自然事象への関心・意欲・態度	B	3	B	3
	科学的な思考(・表現)	B		B	
	観察・実験の技能(・表現)	B		B	
	自然事象についての知識・理解	A		B	
音楽	音楽への関心・意欲・態度	B	2	B	2
	音楽表現の創意工夫(音楽的な感受や表現の工夫)	B		C	
	(音楽)表現の技能	C		C	
	鑑賞の能力	B		B	
美術	美術への関心・意欲・態度	B	3	B	3
	発想や構想の能力	B		B	
	創造的な技能	A		B	
	鑑賞の能力	B		B	
保健体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	B	4	B	3
	運動や健康・安全についての思考・判断	A		A	
	運動の技能	A		B	
	運動や健康・安全についての知識・理解	A		B	
技術・家庭	生活や技術への関心・意欲・態度	B	4	B	3
	生活を工夫し創造する能力	B		B	
	生活の技能	A		B	
	生活や技術についての知識・理解	B		B	
外国語（英語）	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	A	4	A	5
	(外国語)表現の能力	A		A	
	(外国語)理解の能力	A		A	
	言語や文化についての知識・理解	B		A	
	小計 ※			(×2.0)	
	計 ※				

総合的な学習の時間の記録

学年	学習活動の内容	活動状況及び所見
2年	市町村の福祉政策について知る。	市役所で資料を収集し，市の福祉政策を具体例とともにまとめた。
3年	地域で盛んな産業を知る。	地域の企業を訪問し，インタビューをもとに，地域産業をさらに活性化させる方法をまとめた。

総合所見及び諸活動の記録

特別活動等の記録

美化委員（2年）
図書委員（3年）
テニス部（1～3年）

行動の記録及び所見

2年次には美化委員として教室の清掃に積極的に取り組んだ。
2年次にテニス部の副部長になり，後輩の面倒をよく見た。3年次では市の大会で個人優勝した。

本書の記載事項に誤りのないことを証明する。

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

中学校名　○○○ 中学校

校長氏名　○○ ○○　印

記載者氏名　○○ ○○　印

➡面接の資料
2・3年次それぞれの具体的な学習活動の内容，活動のようす，特徴が記載されます。

➡面接の資料　中学校3年間での学級活動・生徒会活動・学校行事のようすと，所属していた部活動名が記載されます。

➡面接の資料　中学3年間を通じて，具体的事実をもとにした学校生活全般にわたる行動のようすやすぐれた活動内容が記載されます。

内申（評定）➡1次選考で使うS1を求めるための資料
2年次と，3年次の2学期（2学期制の中学校は12月末）の各教科の内申（評定）が，高い順に5～1で記載されます。この内申が1次選考の合格者を決める資料のひとつです。内申は5が最高点なので，2・3年次のそれぞれの満点は5×9教科＝45点満点です。1次選考では，2年次の内申45と，3年次の内申45を2倍したものの合計点が用いられるため，45＋45×2＝135点満点となります。それぞれの教科を各観点で見た観点別学習状況は，評価が高い順にA，B，Cで記載され，A～Cそれぞれの数によって内申がつけられます。

知っておくとためになる知識

2 学力検査について知っておこう！

学力検査は，英語・数学・国語・社会・理科の５教科（各100点・50分）です。ただし，特色検査を行う高校では，学力検査を３～４教科で行うことができます。

３教科（英数国）	市立川崎総合科学（デザイン科）　上矢部（美術陶芸コース） 白山（美術コース）　弥栄（芸術科・スポーツ科学科）

2016年入試で，全日制では次の高校が３～４教科で学力検査を実施しました。また，2013年より学校独自問題が廃止され，全県共通問題になりました。

４教科（指定教科＋選択）	神奈川総合（国際文化コース） …「英・国」＋「数・理・社から２教科選択」

■学力検査の時間割（2016年入試参考）　＊英語はリスニングを含む。

検査についての注意	英語	国語	数学		理科	社会
8:50～9:10	9:20～10:10	10:25～11:15	11:30～12:20	昼食	13:10～14:00	14:15～15:05

知っておくとためになる知識

3 面接で聞かれるのは？

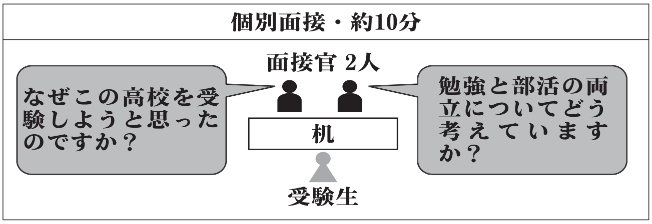
「志願理由」「学習意欲」などについて聞かれる

面接は受験者全員に課されます。

各高校共通の観点 と **高校ごとの観点** があり，それをもとにして質問されます。

各高校共通の観点
- 入学希望の理由
- 中学校での教科などに対する学習意欲
- 中学３年間の教科以外の活動に対する意欲

▶各高校の面接のようす【例】



評価基準 例　各高校で決めた下のような評価基準をもとに評価され，面接点として点数化されます。

評価の観点	評価	評価の尺度	評　価　基　準
高校でどのように勉強したいか？	◎	優れている	ポイント：高校での学習に対する意欲 ・内容が具体的で，自分から積極的に取り組もうとするようなものとなっている。
	○	満足できる	・内容は具体的ではないが，自分から積極的に取り組もうとする姿勢が感じられる。
	△	満足できる水準を下回っている	・自分から積極的に取り組もうとする姿勢が感じられない。

面接を受けるときの注意点

受験生１人に対して，２人以上の面接官によって行われます。

面接官は何をチェックする？　「態度」「ことばづかい」「服装」「髪型」など

具体的にどんなことが聞かれる？　「将来の進路を実現するために心がけていること」「中学時代に一生懸命取り組んだこと」「高校でやりたいこと」「今いちばん興味があること」「自分の性格」「友人関係」など

面接点はこのように決まる ⇨ 各面接官の評価を観点ごとに適正に点数化したものを100点満点に計算し直し，１次選考では２～６倍，２次選考では２～８倍したものが面接点となります。例えば，面接の結果が80点で，面接の比率が「２」なら，面接点は80点×２＝160点となります。

知っておくとためになる知識

4 面接シートはどのように書けばいいの？

入学願書と一緒に提出。面接の参考資料として使われる

第14号様式

面　接　シ　ー　ト

※受　検 番　号	

志願者 氏　名	ﾌﾘｶﾞﾅ	中学校名	立　　中学校
志願先	（県・市）立　　高等学校　　科　　コース 専攻・部		

◎　面接の質問内容の参考とするため、次のことについて記入してください。２、３については、取組み内容も含めて記してください。
◎　このシートは面接の際の参考資料で、直接に選考資料にはしません。

1　なぜこの学校に入学したいのですか。

⇒まずは受験する高校のことをよく知ることです。各高校のホームページなどで調べるだけではなく，高校の説明会や文化祭などに参加すれば，その高校の良さがよくわかります。校風や行事，部活などを例にあげて，自分の夢や希望とどのように結びつくのか，役に立つのかを考えて，書きましょう。

2　中学校での教科等の学習活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。

⇒学校の授業だけではなく，たとえば家庭で理科の自主研究を行ったなど自分から進んで取り組んだものがあれば，それを書きましょう。

3　中学生のときに教科等以外の活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。
（学校外の取組みでも構いません。）

⇒生徒会や部活動のほか，ボランティア活動などにどのように取り組んだか，また，その活動から得たことなどを思い出し，整理してわかりやすく書きましょう。

4　自分自身のよいところはどのようなところだと考えていますか。

⇒学校生活の中で，ほめられたときのことを思い出してみましょう。そのとき体験したことをエピソードとして利用すると書きやすくなります。また，両親や友だち，周りの人の意見を聞いてみるのも参考になります。自分の気づいていない長所が見つかるかもしれません。

【記入上の注意】１　※の欄は記入しないこと。
２　枠内に自筆で記入すること。鉛筆書きも可。写真等は貼り付けないこと。

（2016年入試参考）

知っておくとためになる知識

5 特色検査について知っておこう！

実施校は「自己表現」か「実技」を行う

▶2016年入試で検査を実施したおもな高校【　】内の数字は特色検査の比率

区分	内容	おもな高校
自己表現	与えられたテーマについての記述	厚木【２】　小田原【２】　希望ヶ丘【２】 湘南【１次１，２次２】 柏陽【２】　平塚江南【２】　横須賀【１】 市立横浜サイエンスフロンティア（理数科）【２】 横浜翠嵐【２】　横浜緑ケ丘【２】
	与えられたテーマについてのスピーチ	光陵【２】　市立南【１】
	与えられたテーマについての討論	神奈川総合（国際文化コース）【２】
実　技	美術系学科・コース…デッサン	弥栄（芸術科美術専攻）【１次３，２次５】など
	音楽系学科・コース…独唱・楽器演奏	市立戸塚（音楽コース）【３】など
	体育系学科・コース…選択したスポーツ種目	荏田（体育コース）【１次４，２次５】など
	英語系学科・コース…口頭による英問英答	横浜国際（国際情報科）【１次３，２次５】

特色検査点はこのように決まる ⇨ 各高校が決めた評価基準をもとにして点数化したものを100点満点に計算し直し，各高校が決めた比率で１～５倍したものが特色検査点となります。

知っておくとためになる知識 6 受験できる高校に制限はあるの？

➡ 神奈川県内の生徒が受験できる高校は次のとおりです。

県立	学区制限はなく，県内の全地域からすべての高校を受験できる
川崎市立	川崎（普通）・高津・橘（普通） ➡ 市外生８％以内
横浜市立	横浜サイエンスフロンティア・横浜商業 ➡ 学区制限なし 金沢・南 ➡ 市外生30％以内 桜丘・戸塚・東・みなと総合 ➡ 市外生８％以内
横須賀市立	横須賀総合 ➡ 学区制限はなく，県内のすべての地域から受験できる

知っておくとためになる知識 7 重点化って何？

重点化 特定の教科の配点を大きくすること
- 内　　申…１～３教科の範囲で最大２倍まで
- 学力検査…１～２教科の範囲で最大２倍まで

➡ 重点化される教科が得意な場合には，その教科の点数が大きく扱われて有利になるので必ずチェックしておきましょう！　また，学力検査で高得点の教科を重点化する場合，結果的に平均点が低い教科で，高得点となると有利です。しかし，平均点が高いか低いかは事前にはわからないため，各教科とも実力を出し切るようにしましょう。

内申

【例】追浜（2016年春）「英・数・国を各２倍」

通　常 …（９教科×５）［２年次］＋（９学科×５×２）［３年次］＝135点満点

重点化 …（６教科×５＋３教科×５×２倍）［２年次］＋（６教科×５×２＋３教科×５×２倍×２）［３年次］＝180点満点

（３教科×５×２倍：英・数・国を各２倍）

学力検査

【例】市立金沢（2016年春）「英を1.5倍，数を1.2倍」

通　常 →　５教科　×　100点　＝500点満点

重点化 →　３教科（国・社・理）　×　100点　＋　100点×1.5（英を1.5倍）　＋　100点×1.2（数を1.2倍）　＝570点満点

知っておくとためになる知識 8 絶対評価？ 相対評価？

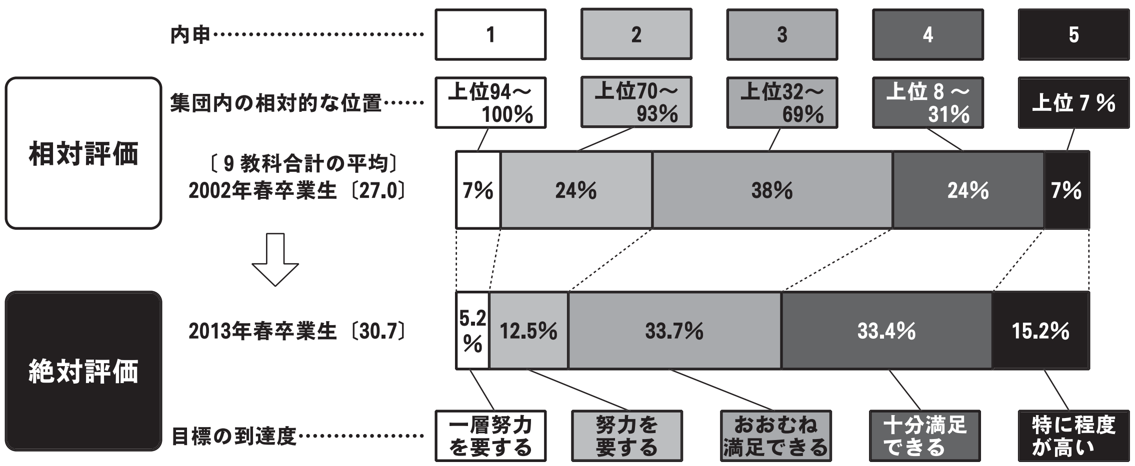
➡絶対評価に変わり，５と４の割合が拡大

内申（評定）は，2002年度の中学の学習指導要領改訂に伴い，2003年春の卒業生より相対評価から絶対評価に変わりました。相対評価での５段階の内申は「５」「１」各７％，「４」「２」各24％，「３」38％という配分が決まっていました。一方，絶対評価では，指導要領に示された目標にどれぐらい達しているかによって５段階で評定され，配分の制限はありません。

下の絶対評価のグラフは，2013年春卒業予定者の第３学年２学期の９教科平均による各内申の割合を示したものです。相対評価と比べて「５」「４」の割合が大きくなり，「２」「１」が小さくなっています。つまり，絶対評価に変わって，内申が高めにつけられていることがわかります。

絶対評価では，各内申の配分が決まっていないため，中学校や地域によって配分に違いが出てきます。調査書には内申とあわせて各教科の観点別評価が３段階で記入されています。各教科の観点別評価をもとに各教科の内申を決めるため，観点別評価と一緒に記載することによって内申が適正につけられているかどうかがある程度高校側でもわかるようになりました。なお，絶対評価に変わってから各評定にあまり大きな変化がないことから，2014年からは調査を取りやめています。

絶対評価と相対評価の分布の違い【例】



※絶対評価５～１の各内申の％は，神奈川県内公立中学校の2013年春卒業予定者の第３学年２学期の各内申の割合（９教科平均）

＊2014年春卒業生からは調査を取りやめています。

知っておくとためになる知識

9　各高校の比率一覧（各比率の校名は50音順）

１次「内申：学力検査：面接」は「３：５：２」「４：４：２」が主流
２次「学力検査：面接」は「８：２」が６割，「７：３」が２割

普通科一般コース，単位制普通科，総合学科，弥栄（理数），横須賀明光（国際），市立横浜サイエンスフロンティア，横浜国際を掲載しました。

■第１次選考の比率【評定：学力検査：面接】（2016年春参考）　＊は特色検査実施校

（学力検査重視）

内申	学力検査	面接	のべ学校数（全体に占める割合）	校名
2	6	2	２校（1.6%）	鶴見　＊横浜翠嵐
3	5	2	34校（26.4%）	＊厚木　海老名　大船　＊小田原　神奈川総合（個性）　＊神奈川総合（国際）　市立金沢　鎌倉　上溝　＊希望ヶ丘　＊光陵　市立桜丘　座間　＊湘南　住吉　多摩　茅ヶ崎北陵　＊柏陽　秦野　市立東　氷取沢　＊平塚江南　藤沢清流　＊市立南　大和　大和西　百合丘　＊横須賀　横須賀大津　市立横須賀総合　＊市立横浜サイエンスフロンティア　横浜栄　横浜清陵総合　＊横浜緑ヶ丘
4	4	2	64校（49.6%）	麻溝台　麻生　足柄　厚木清南　厚木西　有馬　生田　生田東　伊志田　伊勢原　市ケ尾　大磯　追浜　金井　上鶴間　上溝南　上矢部　川崎　市立川崎　川崎北　川和　岸根　霧が丘　港北　相模原　座間総合　七里ガ浜　湘南台　松陽　城郷　新栄　新城　菅　逗葉　西湘　瀬谷　大師　市立高津　高浜　市立橘　茅ヶ崎　茅ヶ崎西浜　津久井浜　鶴見総合　鶴嶺　市立戸塚　新羽　橋本　秦野曽屋　深沢　藤沢総合　藤沢西　舞岡　市立みなと総合　元石川　弥栄（理数）　山北　大和南　横須賀明光（国際）　横浜桜陽　＊横浜国際　横浜南陵　横浜平沼　横浜緑園総合
5	3	2	23校（17.8%）	愛川　旭　麻生総合　厚木東　綾瀬　綾瀬西　荏田　相模田名　相模原総合　寒川　城山　逗子　瀬谷西　津久井　永谷　二宮　白山　保土ヶ谷　三浦臨海　大和東　横浜旭陵　横浜立野　吉田島総合
4	3	3	２校（1.6%）	金沢総合　平塚湘風
6	2	2	４校（3.1%）	厚木北　磯子　大井　相模原青陵

知っておくとためになる知識

10 公立高校の再編と入試改革のあゆみ

神奈川県の公立高校では，さまざまな学校再編や入試改革が行われてきました。2000年から10年にわたった「県立高校改革推進計画」により1999年時点で166校あった全日制高校は141校に，うち普通科高校が122校から82校に削減されました。2013年には前期・後期選抜を一本化。2015年12月には2017年以降の再編予定を示した「県立高校改革実績計画」（I期）が発表されました。

〜2010年までのおもな入試改革

- 1953年…ア・テスト（アチーブメントテスト）を入試選抜資料として取り入れる
- 1978年…「推薦」導入（農業科・水産科のみ）
- 1997年…ア・テスト廃止
- 2004年…推薦→前期選抜，一般→後期選抜に移行
- 2005年…県立高校普通科一般コースの学区撤廃

年　度	再編のあゆみ（2017年以降は予定），推進事業	おもな入試改革（変更点）
2012年（平成24年）	[再編] 市立桜丘（単位制→学年制） [中高一貫] 光陵（横国大横浜中との連携で中高一貫コース設置） 市立南（併設中学を開校） 相模大野・大原（中等教育学校への完全移行により高校募集停止）	•市立横浜サイエンスフロンティアが学区撤廃 •市立金沢一般コースの学区外からの受け入れが８％から30％以内に
2013年（平成25年）	[再編] 津久井（福祉コース→福祉科） 磯子（国際ビジネス→グローバルコミュニケーション） 山北（体育→スポーツリーダー） 有馬（外国語→英語） 市立南（単位制→学年制） 商工（総合技術科・総合ビジネス科併設高校に移行） 相模・平塚商業・厚木商業（総合ビジネス科併設高校に移行） 中央農業・平塚農業（農業総合科併設高校に移行） [SSH] （〜2017年）厚木 [推進校] （〜2015年）学力向上進学重点校：厚木・小田原・追浜・鎌倉・川和・希望ヶ丘・光陵・相模原・湘南・多摩・柏陽・秦野・平塚江南・大和・横須賀・横浜国際・横浜翠嵐・横浜緑ヶ丘	•前期選抜・後期選抜を共通選抜に一本化 •学力検査と面接を全員に実施 •学校独自問題を廃止 •高校の判断により，特色検査として自己表現または実技を実施 •入試の変更に伴い，これまでの「調査書：学力検査」の比率が「内申：学力検査：面接」の比率に変わったため，選抜資料の比率の種類を拡大
2014年（平成26年）	[再編] 横浜明朋（多部制定時制として新設） 市立川崎（併設中学を開校し，二部制定時制を新設） 市立戸塚（芸術コースを設置） 市立横浜商業（スポーツマネジメント科を設置） [SGH] （〜2018年）横浜国際，市立横浜サイエンスフロンティア	
2015年（平成27年）	[再編] 市立東（2015年にスポーツコースを設置） [SSH] （〜2019年）市立横浜サイエンスフロンティア [SGH] （〜2019年）市立南	
2016年（平成28年）	[推進校] 理数教育推進校：希望ケ丘・相模原・多摩・平塚江南・横須賀 グローバル教育研究推進校：小田原・神奈川総合・鎌倉・大和西・横須賀明光・横浜平沼 国際バカロレア認定推進校：横浜国際 [SSH] （〜2020年）横須賀	
2017年（平成29年）〜〔予定〕	[再編] 《2017年》大師・横浜清陵総合・横浜緑園総合…単位制普通科に改編 大井・大和東…クリエイティブスクールに改編 横浜桜陽…フレキシブルスクール→単位制普通科に移行 綾瀬西（福祉教養）・有馬（英語）・生田（自然科学）・磯子（グローバル）・荏田（体育）・西湘（理数）・高浜（福祉）・山北（スポーツ）・横浜南陵（健康福祉）…専門コース募集停止 厚木北…スポーツ科学コース→スポーツ科学科 小田原総合ビジネス…普通科設置 上矢部…美術陶芸コース→美術科 白山…美術コース→美術科 横浜国際…国際情報科→国際科 吉田島総合…総合学科→農業科 弥栄…普通科・音楽科・美術科・スポーツ科学科に改編 市立横浜サイエンスフロンティア…中学設置 川崎市立商業…普通科設置 市立川崎総合科学…定時制商業科を設置（市立商業より移管） 《2018年》三浦臨海・平塚農業初声分校［2018年募集停止］…統合 磯子・相模原青陵・横須賀明光（国際科）…募集停止 《2019年》高浜・平塚商業（定時制）…統合 平塚農業・平塚商業（全日制）…統合 吉田島総合…生活科学科設置 《2020年》氷取沢・磯子［2018年募集停止］…統合 弥栄・相模原青陵［2018年募集停止］…統合 横須賀明光［2018年国際科募集停止］・大楠…統合 [推進校]《2018年〜》学力向上進学重点校：厚木・小田原・鎌倉・川和・希望ヶ丘・光陵・相模原・湘南・多摩・茅ヶ崎北陵・柏陽・平塚江南・大和・横須賀・横浜翠嵐・横浜平沼・横浜緑ヶ丘（エントリー16校のうち10校程度を指定予定）	

[SSH]…文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール　[SGH]…文部科学省指定のスーパーグローバルハイスクール